

# 資格の取得

## 1. 資格の取得について

資格は、個人の能力を社会に対して証明するものであり、社会的称号とも言えます。

年功序列制や終身雇用制の崩壊、企業の人事政策の転換など、現代の社会は個人の能力をますます重視する方向へと変化しています。

企業においては、採用時・在職時とも有資格者を評価する傾向が増しており、大学生にとって就職氷河期に対応するための有効な手段として、資格取得の重要性と有効性がますます増大しています。在学中に、何かひとつ、資格を取得することを目指してください。

反面、資格社会・資格時代と言われるブームの中で、資格取得に絡んだ悪徳商法による色々な問題やトラブルが発生している事実も見逃せません。

資格取得のための情報収集や講習会（公共の機関と紛らわしい業者名が多い）など、十分な注意が必要です。

在学中に取得することが可能である、主な資格は次のとおりです。詳しい内容や受験申込については、各資格のホームページを参照してください。学生課窓口でも情報提供や相談に応じています。

## 2. 資格の概要

### 2.1 工業関係

<b>CAD 利用技術者試験</b> （本学が試験会場・団体受験）
CAD と製図の基礎知識（2 級）と CAD 操作の実技（1 級）があります。（社）コンピュータソフトウェア協会が行う民間資格試験です。 URL： <a href="http://www.csaj.jp/cad/">http://www.csaj.jp/cad/</a>
<b>電気通信の工事担任者</b>
利用者が電気通信事業者のネットワークに自らのネットワークや端末設備等を接続する際に、必要な知識及び技能を持った者が工事を行い、又は実地に監督することにより、全体としての電気通信回線設備を保護し、利用者が安定した良好な電気通信サービスを受けられるようにするために設けられた国家資格制度です。 URL： <a href="http://www.shiken.dekyo.or.jp/">http://www.shiken.dekyo.or.jp/</a>
<b>ガス溶接技能者</b>
建築現場などで、可燃性ガスと酸素を用いた金属の溶接・溶断等に従事できる国家資格です。都道府県労働局に登録した教習機関が実施する「ガス溶接技能講習」を受講し、修了試験に合格することで取得できます。 URL： <a href="http://syg-k.jp/index.php">http://syg-k.jp/index.php</a>
<b>危険物取扱者</b> （本学が試験会場）
消防法や揮発油販売法などで「危険物」とされる物質を扱うために必要な資格です。（財）消防試験研究センターが行う国家資格試験です。 URL： <a href="http://www.shoubo-shiken.or.jp/">http://www.shoubo-shiken.or.jp/</a>

<b>ボイラー技士</b>
<p>空調設備・給湯など温水ボイラーを取り扱う業務に従事するために必要な資格で、(財)安全衛生技術試験協会が行う国家資格試験です。</p> <p>URL: <a href="http://www.exam.or.jp/">http://www.exam.or.jp/</a></p>
<b>電気通信主任技術者</b>
<p>電気通信ネットワークの工事、維持及び運用の監督責任者で、(財)日本データ通信協会が行う国家資格試験です。</p> <p>URL: <a href="http://www.shiken.dekyo.or.jp/">http://www.shiken.dekyo.or.jp/</a></p>

## 2.2 環境関係

<b>毒物劇物取扱責任者</b>
<p>毒物、劇物の製造、輸入、販売等の業者は毒物劇物取扱責任者を置かなければなりません。工学部生命環境化学科(工学部応用化学科)を修了した人はこの資格を有することになります。</p> <p>URL: <a href="http://www.pref.saitama.lg.jp/A04/BD00/taisaku/dokugeki/dokugekisekininnsya.html">http://www.pref.saitama.lg.jp/A04/BD00/taisaku/dokugeki/dokugekisekininnsya.html</a></p>
<b>技術士補</b>
<p>「技術士」は、科学技術に関する高等の専門的応用能力を必要とする事項についての計画、研究、設計、分析、試験、評価又はこれらに関する指導を行う者で、国家試験(「技術士第二次試験」)に合格し登録した人だけに与えられる称号です。本学 JABEE 認定コースの修了者は、「技術士補」の資格取得が可能で、「技術士第一次試験」が免除されます。</p> <p>URL: <a href="http://www.engineer.or.jp/examination_center/index.html">http://www.engineer.or.jp/examination_center/index.html</a></p>
<b>環境計量士</b>
<p>大気などの汚染濃度や騒音レベルなどを測定・分析する国家資格です。化学分野(濃度関係)と物理分野(騒音・振動関係)があります。</p> <p>URL: <a href="http://www.jemca.or.jp/info/env/index.html">http://www.jemca.or.jp/info/env/index.html</a></p>
<b>公害防止管理者</b>
<p>公害の防止を行うため原材料の検査や測定・公害物質を規制値内に管理するように企業活動を監督します。大気関係第一種、水質関係第一種など合計 10 種類に分類されます。</p> <p>URL: <a href="http://www.jemai.or.jp/japanese/qualification/polconman/index.cfm">http://www.jemai.or.jp/japanese/qualification/polconman/index.cfm</a></p>
<b>衛生管理者</b>
<p>労働者の健康の管理確保と快適な職場環境づくりの専門家です。常時 50 人以上の労働者を使用する事業場では、衛生管理者の選任が義務づけられています。第 1 種および第 2 種があります。</p> <p>URL: <a href="http://www.exam.or.jp/">http://www.exam.or.jp/</a></p>
<b>作業環境測定士</b>
<p>労働者に害を及ぼす要因の有無を調査し、労働環境を改善するためのデータを収集・解析して労働者の健康を守る業務を行う国家資格です。第 1 種および第 2 種があります。</p> <p>URL: <a href="http://www.jawe.or.jp/">http://www.jawe.or.jp/</a></p>
<b>浄化槽管理士</b>
<p>浄化槽の保守点検を行い、水質汚染防止につとめるための国家資格です。浄化槽の保守点検(点検、調整、修理)を行う者は浄化槽管理士でなければなりません。</p> <p>URL: <a href="http://www.jeces.or.jp">http://www.jeces.or.jp</a></p>

## 2.3 情報関係

<b>応用情報技術者試験（旧 ソフトウェア開発技術者試験）</b>
試験の対象者は、高度 IT 人材に必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立した者とされています。出題範囲は技術系のみならず、管理および戦略の分野まで幅広くカバーされています。 URL： <a href="http://www.jitec.jp/">http://www.jitec.jp/</a>
<b>基本情報技術者（本学が試験会場・団体受験）</b>
試験の対象者は、高度 IT 人材に必要な応用的知識・技能をもち、実践的な活用能力を身につけた者とされています。出題範囲は技術系のみならず、管理および戦略の分野まで幅広くカバーされています。 URL： <a href="http://www.jitec.jp/">http://www.jitec.jp/</a>
<b>IT パスポート試験（旧 初級システムアドミニストレータ試験） （本学が試験会場・団体受験）</b>
情報技術の社会への広範な普及を受け、職業人として誰もが共通に備えておくべき情報技術に関する基礎的な知識を測る試験として、平成 21 年度試験より新たに創設されました。戦略・管理・技術の 3 つの分野から基礎的な知識が幅広く出題されます。 URL： <a href="http://www.jitec.jp/">http://www.jitec.jp/</a>
<b>情報処理活用能力検定</b>
情報検定(J 検)は、「情報」を扱う人材に必要とされる ICT 能力を客観的基準で評価する文部科学省後援の検定試験です。情報活用試験・情報システム試験・情報デザイン試験の 3 種類があります。 URL： <a href="http://jken.sgec.or.jp/index.html">http://jken.sgec.or.jp/index.html</a>
<b>CG 検定（本学が試験会場・団体受験）</b>
デジタルコンテンツを製作し表現する際の知識や技術・造形力を問う文部科学省認定の検定資格です。実践の場で力を発揮する体系的な知識と技能を、「CG クリエイター検定」「Web デザイナー検定」「CG エンジニア検定」「画像処理エンジニア検定」「マルチメディア検定」の 5 つの検定で評価されます。 URL： <a href="http://www.cgarts.or.jp/">http://www.cgarts.or.jp/</a>
<b>MIDI 検定</b>
電子音楽の標準規格である MIDI の理解力・活用力を問う認定制度です。 URL： <a href="http://www.midilicense.com/">http://www.midilicense.com/</a>

